

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

LIBRARY

1200 EAST 58TH STREET

CHICAGO, ILLINOIS 60637

1997

UNIVERSITY OF CHICAGO

JICA LIBRARY



J1154062 (2)

1997

INTERNATIONAL CENTER FOR JICA LIBRARY

110
36
TAY
BRARY

LIBRARY
JICA
BORROW

信頼と友情への第一歩

신뢰와 우정에의 첫걸음

平成9年度韓国青年招へい事業

1997년도 대한민국 청년 초청사업

開講式 개강식



● 期待に胸をふくらませて
● 큰 기대감 속에서



● 国際協力事業団より歓迎のあいさつ
● 국제협력사업단 환영연사

共通プログラム

공통 프로그램



信頼と友情への第一歩

신뢰와 우정에의 첫걸음

平成9年度韓国青年招へい事業
1997년도 대한민국 청년 초청사업

期待に胸をふくらませて
큰 기대감 속에서



●期待に胸をふくらませて
●큰 기대감 속에서



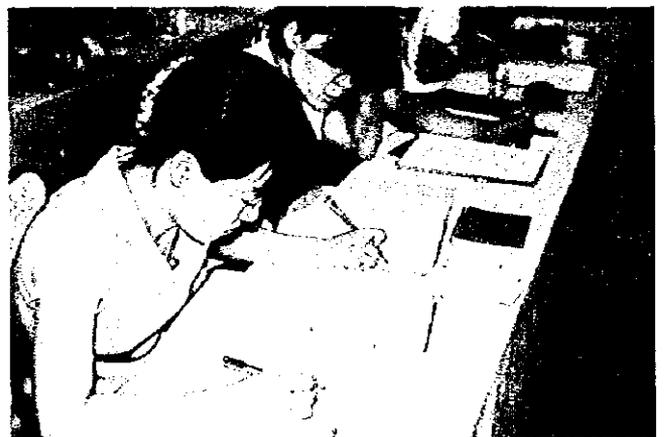
●国際協力事業団より歓迎のあいさつ
●국제협력사업단 환영인사

共通プログラム

공동 프로그램



●日本ってどんな国?
●일본은 어떤 나라일까?



●皆、目が真剣です。
●청년들의 진지한 눈초리



●熱心に勉強する青年
●열심히 공부하는 청년

分野別都内プログラム

분야별 도내 프로그램



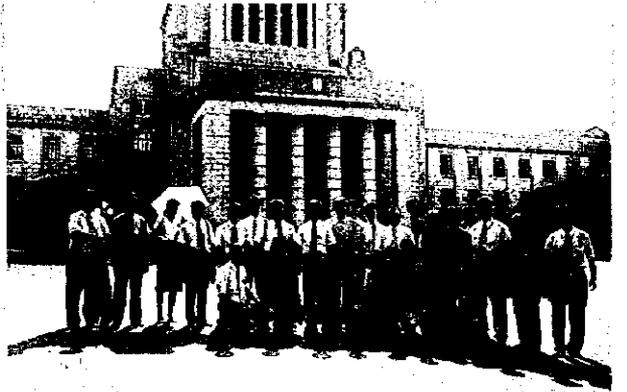
●視察先にて
●견학기에서



●講師も力が入ります。
●기백에 넘친 강의



●社員食堂にて昼食
●직원식당에서 점심식사



●国会議事堂で記念撮影
●국회의사당에서 기념촬영



●歌は世界共通です。
●노래는 세계공통



●ゲームで日韓交流
●한일전 게임교류

合宿セミナー

합숙 세미나



●バスで楽しいひととき
●즐거운 버스 이동시간



●ディスカッションの方法は言葉だけではありません。
●토론은 말로만 하는 게 아니예요

分野別地方プログラム

분야별 지방 프로그램



●仲良くなった子供たちと
●친해진 아이들과 함께



●皆で記念撮影
●다들 모여서 기념촬영



●大きな原子力発電所ですね。
●원자력발전소가 아주 크네요

ホームステイ

홈스테이



●にこやかに、はい、チーズ
●자 웃어요~~ 김치!



●もうすっかり家族の一員ですね。
●우리는 모두 한가족이에요



●仲良くツーショット
●베스트 커플??!

見学旅行 견학여행



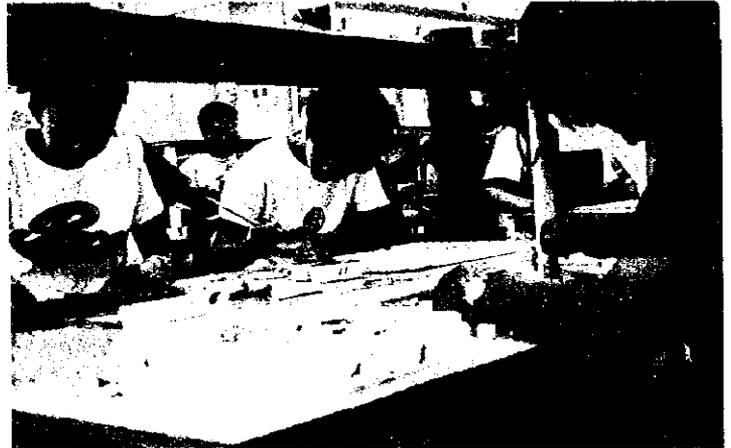
●広島にて
●히로시마에서



●悠久の歴史の一部になりました。
●유구한 역사의 일부가 되었네요



●ガイドの説明に耳をかたむける青年
●가이드 설명을 열심히 듣는 청년들



●友禅染体験
●유젠조예(友禅染)라고 아세요? 일본 전통염색법이에요

歓送会 환송회



●参加証の授与
●참가증 수여



●思い出写真もたくさんまりました。
●추억도 사진도 많이 모였습니다.

●新しい友人たちと
●새로운 친구들과 함께



●皆のことは忘れません。
●평생 잊지 않을 거예요



●楽しい1か月でした。
●즐거운 한달간이었습니다.

青年招へい事業

청년 초청 사업

日本語編・일본어편.....	3
韓国語編・한국어편.....	25



1154062 (2)

青年招へい事業

はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、アセアンをはじめ、アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国などから、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に1カ月間招へいし、それぞれの分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン6カ国でしたが、現在では太平洋諸国・地域、ミャンマー、中国、韓国、南西アジア諸国、モンゴル、アフリカ諸国、カンボディア、ラオス、ヴェトナムのインドシナ3国、および中南米諸国が加わり大きな広がりをもってまいりました。

平成9年度は、1,593名の青年を受け入れ、昭和59年度より平成9年度までの14年間で、日本を訪問したアジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国の青年は16,602名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の1カ月の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。

なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねて厚くお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義な交流プログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成10年3月

国際協力事業団
研修事業部
部長 森本 勝

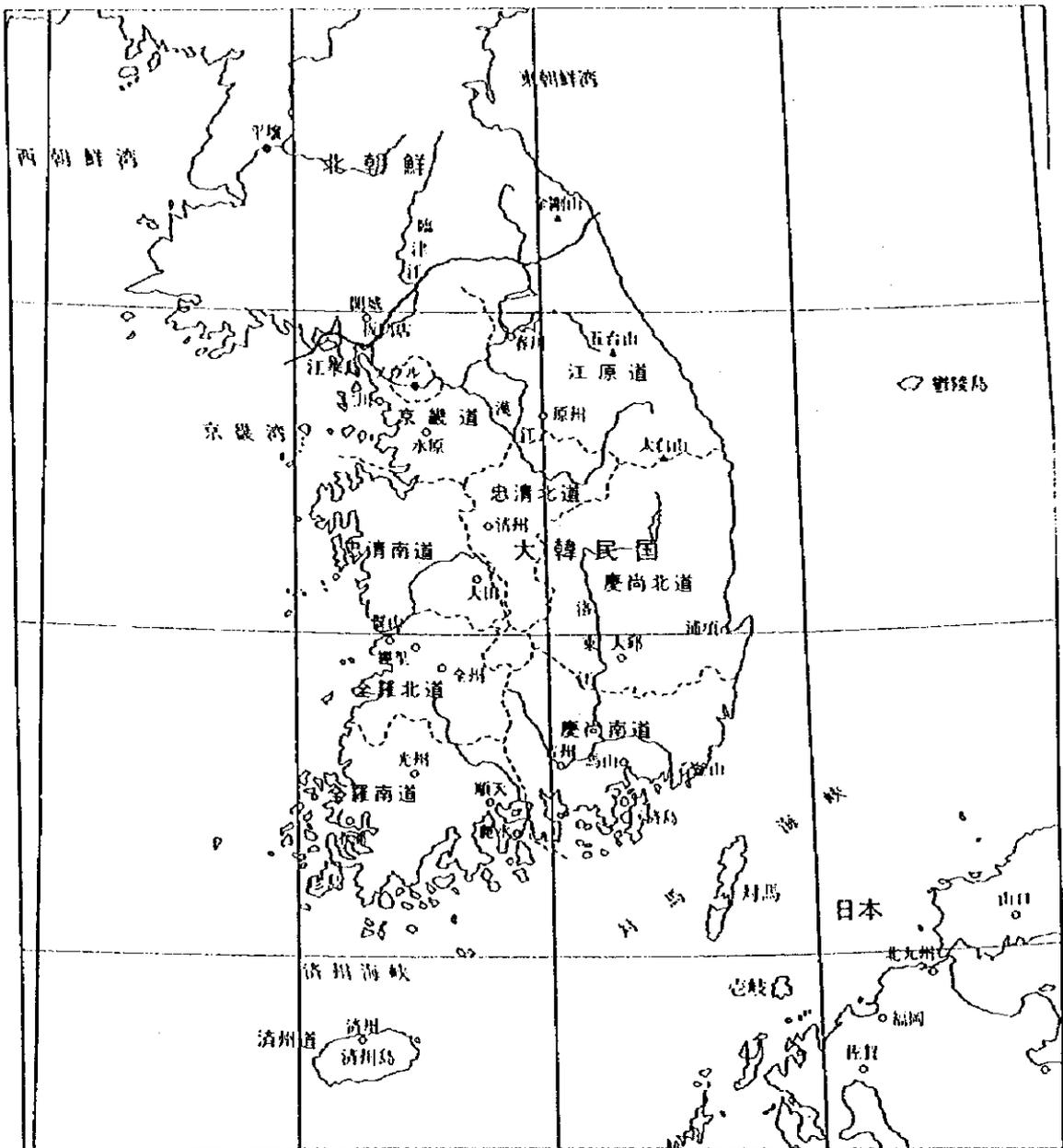
目 次

はじめに

1. 韓国青年招へい事業	
(1) 事業の概要	9
(2) 招へい実績	10
2. 招へい青年の印象	13
3. 合宿セミナー参加日本青年の声	15
4. ホストファミリーの思い出	17

〈実績資料〉

1. 韓国青年招へい実績一覧	21
2. 平成9年度青年招へい実績一覧	22



1. 韓国青年招へい事業

(1) 事業の概要

1) 事業の目的

21世紀に向けて、日本と韓国との友好と協力の関係をより強固かつ実りあるものとするため、未来の国造りを担う韓国の青年をわが国に招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め、真の友情と信頼を培うことを目的とする。

2) 実施方法

(a) 招へい人数

平成9年度は、100名の青年を同時期に受け入れる。

(b) 招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある18～35歳の青年。

(i) 青年指導者・公務員 25名

青少年活動者及び関係者、スポーツ・文化・社会奉仕等団体関係者。

(ii) 勤労青年（事務系） 25名

企業等勤労者、公務員、ジャーナリスト。

(iii) 教員（小学校） 25名

教育機関教員、教育関係公務員。

(iv) 学生（人文・社会系） 25名

大学生、大学院生、各種学校等の学生。

(c) 招へい期間および時期

7月2日から7月31日までの1カ月間。

3) プログラム概要

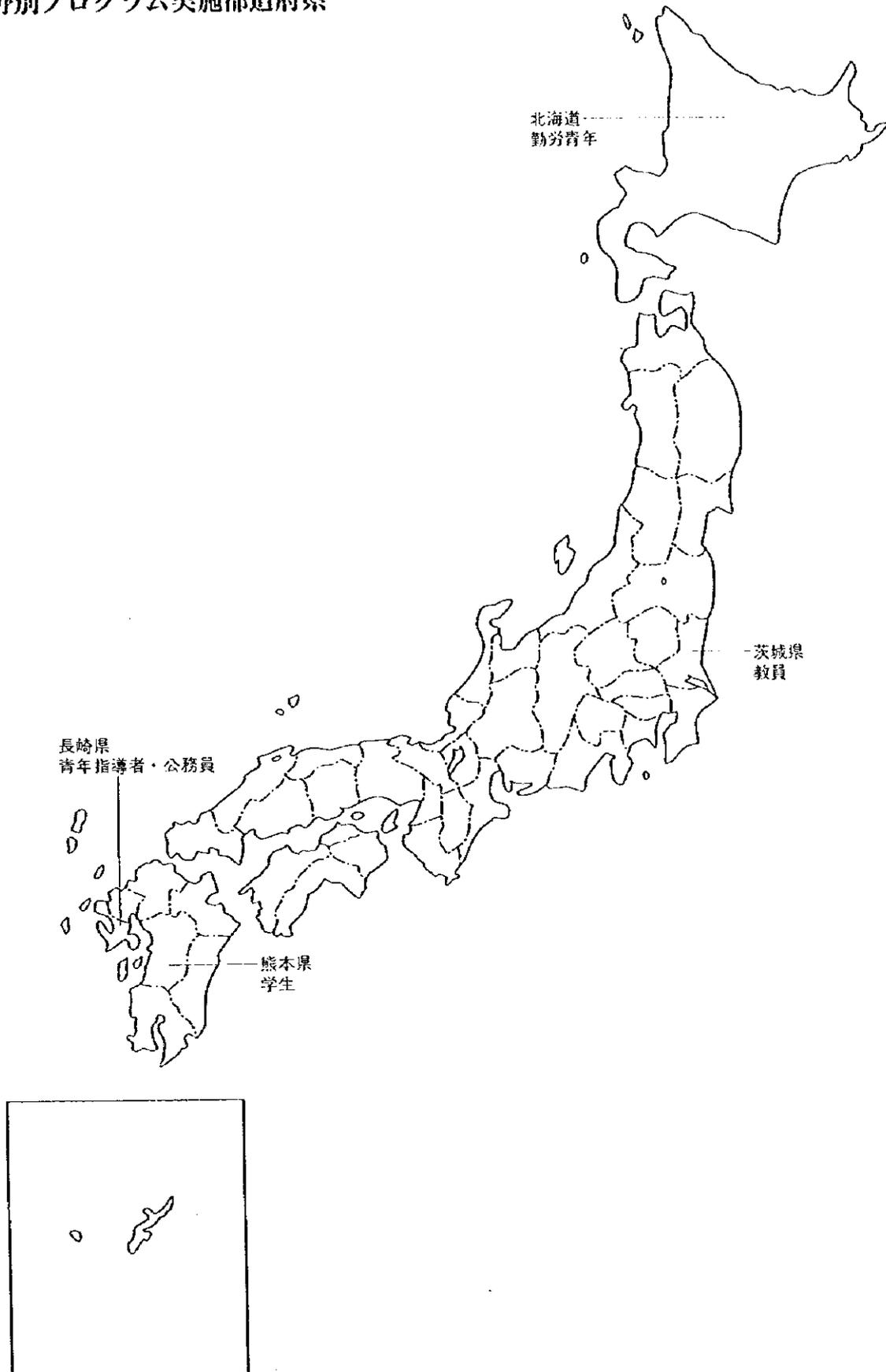
(数日間)	現地オリエンテーションプログラム	日本でのプログラムについての説明 日本語の日常会話の学習 渡航に係る説明等	
	来日	共通プログラム	日本の全体像について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史等の講義及び施設見学
(二カ月間)	分野別プログラム	都内 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修
		合宿セミナープログラム	日本の同世代同分野の青年との意見交換、交流の場
		地方 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方青年との交流等のプログラムの展開
		ホームステイプログラム	日本の家庭生活の体験
		見学旅行プログラム	日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行
帰国	評価プログラム	全プログラムに関する評価会	

(2) 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県
青年指導者・公務員	25	日本ユースホステル協会	長崎
勤労青年(事務系)	24	勤労厚生協会	北海道
教員(小学校)	23	世界青少年交流協会	茨城
学生(人文・社会系)	25	青年海外協力協会	熊本

*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

分野別プログラム実施都道府県



2. 招へい青年の印象

そう そこにも人がいたのだ

李 在珪
(青年指導者グループ)

そう そこには温かい人間がいた
遠くからやって来る見知らぬ友のために、酒と歌を
備えて
微笑みという花を咲かせるために笑顔で迎えてくれ
た私たちの見知らぬ友よ
3日間が過ぎ、サヨナラという言葉に涙を流してく
れた見知らぬ友よ
そんな温かい人間がそこにはいたのだ

そう そこには美しい人間がいた
野に咲く小さな花を胸にさし、ときどき微笑みを投
げかける
すると、小さな庭にも、テーブルの上にも、トイレ
にも、
みんなの心にも小さな花が咲きだした
そんな 美しい人間がそこにはいたのだ

そう そこには平和を愛する人間がいた
原爆の御霊の前、憎しみをかみしめながらも愛のメ
ロディーを奏でる
見知らぬ土地で理由も分からず、悔しさと悲しさを
抱いて死んでいった魂たちよ
隅っこにポツンと建っている石碑の前で悔恨と愛の
花を捧げている
そんな 平和を愛する人間がそこにはいたのだ

そう！ そこには
愛しさと、憎しみと、後悔と、悲しみと、
恨みと、挫折と、希望を胸に抱いた
ずっと前、どこかで見かけた自分という人間がいた

日本での体験

徐 宗燊
(勤労青年グループ)

このたび日本を訪問した勤労青年24人の中には、
日本とはいろいろな縁のある人が多い。

ある人は、父親や祖父が日本に強制的に労役させ
られたという。その人は日本に対して良くない感情
をもっていることだろう。またある人は、現在勤務
している会社が日本と技術協力や輸出入関係にある。
その人は日本の経済発展に関心があるだろう。

私たちは1カ月のあいだに日本の官公庁、学校、
公共施設の訪問、ホームステイなど、いろいろな体
験をした。

私たち一行の中でも、日本に関して話すことは人
によって様々だ。日本は嫌いだけれど日本人は好き
だ、日本女性はきれいだ、日本男性はハンサムだ、
などなど。

いろいろな意見はあったが、最も確かな事実はこの
たびの民間交流が韓日間の理解の幅を広げるだけ
でなく、韓日関係に肯定的な効果をもたらすという
ことだ。お互い一人の人間として出会い、夜遅くま
で話し合うことで、韓日関係の未来も明るくなって
いくだろうと思う。

学んだ経験を教育の場に

李 香娥
(教員グループ)

3泊4日の事前研修の後、日本について知り、韓国を知ってもらうために、私たちは一路日本へと飛び立った。最初はお互いのことをよく知らないのに、皆よそよそしかったが、異国にいるという理由だけで私たちは大韓民国の子という共同体意識を感じさせ、次第に互いにかばい合い慣れ親しんでいった。

体験学習、各種講義、合宿セミナーを始め、期待の中にも一抹の不安を隠せなかったホームステイ、そして最後の見学旅行、——すべてが日本側が示してくれた誠意であり、私たちには大切な経験となった。

広島では、韓国人慰霊碑が片隅に小さく建っていたのに胸を痛め、霊前に献花をしたりもした。

今、長い旅行が終わろうとしている。

私たちが日本のあちこちで会った様々な顔がオーバーラップする。この1カ月間に学んだ経験を、皆それぞれの職場で生かしてくれるに違いない。

このような友情を交歓できる機会を与えてくれた日本の関係者の方々に深く感謝する。

ホームステイの思い出

張 慶美
(学生グループ)

日本での1カ月の滞在で、最も印象に残ったことは熊本でのホームステイである。

書道をたしなむ私の“お母さん”は、作品を見せてくれ、私にも書いてみなさいとおっしゃった。私は漢字とハングルで「韓国」という字を書いた。今でも“お母さん”の家には、私がハングルで「韓国」「ハングル」「日本」と書いた紙と私の写真、そして家族全員がハングルで「韓国」と書いた紙が壁一面に貼り並べられているらしい。私の“家族”はしばらくの間、韓国という国を忘れられないだろう。

ホームステイでは言葉が通じず、もしかすると誤解も生まれたかもしれない。それでも何の問題もなく、楽しく良い思い出を作ることができたのは、“お母さん”と家族のみなさん、ご近所の方々の多大なご配慮のおかげであろう。最後にもう一度、関係者の方々に感謝の意を表し、この出会いが韓国を知ってもらうきっかけになることを願ってやまない。

3. 合宿セミナー参加日本青年の声

はじまりが半分だ！

川村 木綿子
(会社員)

縁あって韓国の人々と交流するようになって4年になる。だが今回ほど胸襟を開き率直な意見交換ができたのは初めてであった。

なかでも敬愛してやまぬ詩人、尹東柱^{ユンドンジュ}とその作品について言葉の不自在さがあっても深く語り合えたことは、琴線に触れる出来事だった。

韓国人が「友達」という時、日本人にはない熱烈な思いが言外に滲み出ているように感じる。私たちの今回の出会いは、友達となれるきっかけにすぎない。これからどう発展させていくかは、私たち次第であろう。友達とは長所も短所も許容し合える関係だと私は思っている。まだまだ言い尽くせないけれど、始まったばかりだ。続きはまたお会いした時にでも。

참으로 감사합니다

残された宿題

吉村 美佳
(会社員)

いろいろな国際交流に携わったが、討論を媒介とした交流は初めてだった。留学、旅行、農村開発等の目的で何カ国も訪ねたが、大勢の社会人との交流は新鮮であり、楽しいだけにとどまらず、考えさせ

られる部分も多分にあった。また、韓国人青年は個人の意見を持つ一方で、他人のことを気遣うやさしさも備えていることを知った。3日間という短期プログラムではあったが、とりわけ深夜に及ぶ討論は相手を知るのにも友情を築くにも十分であった。ハングルの響きにも魅せられ、韓日の交流史についてもひとくなど、合宿後にも残された宿題をじっくりと片づけていきたいと思う。素晴らしい出会いに感謝するとともに、近い将来同じメンバーで再び話し合える機会をぜひ持ちたいと思う。

熱い韓国の青年教師に感動

臼井 秀行
(小学校教諭)

「日本のこれから目指す教育は？」「特別活動は？」「オープンスクールは？」……など矢張り早に質問を受け、長時間にわたる白熱した情報交換で、久しぶりに緊張した3日間だった。そこでのグループディスカッションでは、日本のよいところを可能な限り取り入れ、よりよいものにしていこうとする韓国の先生方の熱意に圧倒され、私たちも頑張らなくては、という気持ちが新たに湧き上がってきた。

私の班は「青少年の遊びや文化の違い」「特別活動」が中心のテーマだった。なかでも「たまごっち」が話題の中心になったが、日本の文化や教育制度が、韓国にも少なからず影響を与えていることを初めて知った。また、受験競争の過熱ぶりを知り、これらは大切な問題であり、じっくり考え、対応していかなければならないと思った。この3日間の経験を学校に戻って報告し、これからの教育に生かしたいと思う。

裸のつきあい

菅 龍夫
(学生)

それにしても、よく笑っていた私だ。今日も街で人の情けを求めてさまよいながら、韓国の友人たちと過ごした3日間を思い出す。楽しすぎて何を書こうかと迷う。本当は私らしく、犬のようにウーウーとだけを書き尽くして終わりにしたい。

友人に誘われて、今回初めて合宿セミナーに参加させてもらった。歌ったり、踊ったり、吠えたりと皆の高いテンションに驚き、同時に良き仲間になったことに喜びを感じた。それとは逆にディスカッションになると皆の真剣な眼差しが印象的だった。それだけにとどまらず夜遅くまでグラスを片手に激しい議論が続いた。興奮していたのは相手も同じだったと思う。その時は「いや、それっておかしいよ!」と言っていた私も、後日考えてみると、「あの人の言い分も分からなくないな!」と納得したりしている。

日韓の間に超えなければならぬ壁はいくつかあると思う。しかし、今回のセミナーのように形式や外見にこだわらず、向き合って話すことが互いを近付ける近道と思った。いつか皆と裸のつきあいができることを信じて、私も努力を惜しまない。

私の大きな愛が皆に届きますように!

4. ホストファミリーの思い出

素敵なおみやげをありがとう

吉崎 芳秀
(長崎県)

「さようなら、また、来てね」

握手する手を離そうとしない息子と娘、笑顔で応えてくれる青年、目頭を押さえ、私も心より再会を願った。子供たちも初めての体験、友情とほのかな別れの悲しみに強い感動を覚えたことは言うまでもない。初めてのホームステイ、前日までの不安と緊張はすべて感激と喜びに変わっていた。言葉の壁、かつての諸々のわだかまり等一切感じさせない青年の立派な人柄のため、何の違和感を抱くこともなかった。家族が心を一つにして接した。子供たちと青年の会話風景に私も笑みがこぼれることしばしばであった。

「ホームステイは今回限りですよ」の妻の言葉も「機会があったらまた受け入れましょうね」に変わるほどの心地良い成就感を与えてくれた青年。短期間だったが、素敵なおみやげを山ほどくれた彼に心より「ありがとう」と感謝の意を伝えたい。そして、このような機会を与えてくださった方々へ深くお礼を申し上げたい気持ちでいっぱいだ。

ホームステイ カムサ ハムニダ (ありがとう)

松沢 紀代子
(北海道)

ハングル講座に通っていても、とても会話までは自信がない私は、韓国青年がわが家に2泊だなんていったいどんなことになるか、と心配だった。しかし意外と気持ちに通じるもので、私の下手なハングルと彼のカタコト日本語、少しの英語と、メモに書く漢字。これで、彼が仲媒(見合い)結婚し、生まれて3カ月の娘がいて、趣味は登山とクラシック音楽、母親は私と同じ年、等々分かった。顔立ちが日本人とそっくり、礼儀正しく年長者を敬う彼らに、昔の日本の若者を見るような、なつかしささえ感じた。必死で覚えた韓国のカラオケと一緒に歌ったのもよい思い出となった。11月にはハングル講座の仲間とソウルやプサンに旅行するので、また会う日を楽しみに、会話の練習に励んでいる毎日である。

韓国人青年を受け入れて

見澤 仁
(茨城県)

今まで韓国というと、近くて遠い国というイメージを持っていた。それは自分の不十分な知識のせいであった。今回の受け入れでは、歴史的背景を踏まえつつ、どんな話をしようかと心配なところもあった。しかし、実際に会って2日間を過ごしてみると、特に私たちの世代になると、昔をどうのというより、興味の対象は、たとえばワールドカップ(サッカー)のライバル国ということであったりする。言葉は分

からなくても、そうしたスポーツでの交流や、文化的なやりとりをすることが大切になってくると思う。これだけ近くにある国なのだ。今回のシンさんを受け入れた体験で、今までよりかなり気持ちの面で近づけたように思う。今度は彼の母国を訪れてみたい。お互いに貴重な経験になったと思う。

出会い

澤田 美佐子
(熊本県)

今回ホームステイをお受けすることになったが、私たち夫婦だけなのでどう接したらよいか考えた。普段どおり自然に接したが、とても日本語のお上手な方で、違和感なく話すことができた。いろいろと日本の文化を体験させてあげたいと思ったが、なにも短期間なので、考えた末に清和村の文楽館に連れて行った。人形にさわって首等を動かしてみたり、それから高千穂峡へは手作り弁当持参で行き、たいへん喜んでくれた。

最後の夜は遅くまで語り合い、何だか、いとおしく、娘が一人増えたような気がして、お互いに涙が出た。文化や習慣が違っても心と心が触れ合うことでお互いに通じ合えることを痛感した。これを機会にまた再会することを約束した。

実績資料

1. 韓国青年招へい実績一覧

●平成5年度 (96名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
学生	25	世界青少年交流協会	石川	北陸	石川県世界青年友の会
教員	24	日本国際協力センター	岩手	東北	岩手県国際交流協会
勤労青年	23	勤労厚生協会	高知	四国	日本青年会議所高知ブロック協議会
青年指導者	24	日本ユースホステル協会	新潟	関東	新潟県ユースホステル協会

●平成6年度 (100名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	沖縄	沖縄	沖縄県ユースホステル協会
教員	25	青年海外協力協会	北海道	北海道	北海道青年海外協力隊OB会道東支部
勤労青年	25	勤労厚生協会	埼玉	関東	上尾市国際交流推進委員会
学生	25	世界青少年交流協会	新潟	関東	新潟県世界青年友の会

●平成7年度 (98名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者・公務員	25	国際交流サービス協会	新潟	関東	新潟県国際交流協会
勤労青年	23	勤労厚生協会	埼玉	関東	上尾市国際交流推進委員会
教員	25	日本ユースホステル協会	福井	北陸	福井県国際交流協会
学生	25	世界青少年交流協会	秋田	東北	秋田県世界青年友の会

●平成8年度 (100名)

	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者・公務員	25	日本ユースホステル協会	愛媛	四国	愛媛県国際交流協会
勤労青年	25	勤労厚生協会	滋賀	関西	滋賀県青年団体連合会
教員	25	国際交流サービス協会	茨城	筑波国際センター	平成8年度茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生	25	世界青少年交流協会	秋田	東北	秋田県国際交流協会

●平成9年度 (97名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者・公務員	25	日本ユースホステル協会	長崎	九州	長崎県ユースホステル協会
勤労青年(事務系)	24	勤労厚生協会	北海道	北海道	滝川国際交流協会
教員(小学校)	23	世界青少年交流協会	茨城	筑波国際センター	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
学生(人文・社会系)	25	青年海外協力協会	熊本	九州	熊本県青年海外協力協会

* 共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

2. 平成9年度青年招へい実績一覧

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
5月15日 ～ 6月13日 1陣 116人	インドネシア	社会開発	25	日本ユースホステル協会	大分	大分県海外協会
	インドネシア	経済A	20	日本経済青年協議会	福井	福井県国際交流協会
	インドネシア	経済B	24	勤労厚生協会	群馬	アセアン青年招へい事業群馬県実行委員会
	フィリピン	教育	22	青少年育成国民会議	山梨	青少年育成山梨県国民会議
	フィリピン	社会開発	25	国際交流サービス協会	富山	助とやま国際センター
5月21日 ～ 6月19日 2陣 117人	シンガポール	教育	21	世界青少年交流協会	石川	小松市国際交流協会
	シンガポール	社会開発	25	勤労厚生協会	大阪	大阪市青少年国際交流協議会
	シンガポール	経済B	24	日本国際協力センター	大阪	勤日本国際協力センター大阪支所
	タイ	教育	22	青年海外協力協会	京都	勤青年海外協力協会近畿支部
	タイ	社会開発	25	日本友愛青年協会	石川	勤石川県国際交流協会
6月4日 ～ 7月3日 3陣 100人	ヴィエトナム	公務員	25	公務研修協議会	北海道	勤北海道YMCA
	ヴィエトナム	経済	25	国際交流サービス協会	大阪	勤太平洋人材交流センター
	マレーシア	経済経営	25	青少年育成国民会議	福島	福島県青年海外派遣友の会
	マレーシア	中小企業	25	日本ユースホステル協会	石川	勤石川県ユースホステル協会
6月19日 ～ 7月18日 4陣 91人	シンガポール	経済A1	20	ユースワーカー能力開発協会	広島	しょうぼろ国際交流協会
	シンガポール	経済A2	24	日本経済青年協議会	京都	勤京都ユースホステル協会
	カンボディア	教育	30	青少年育成国民会議	沖縄	勤沖縄県国際交流財団
	ラオス	農林漁業	20	高知県国際交流協会	高知	勤高知県国際交流協会
6月26日 ～ 7月25日 5陣 88人	太平洋混成	公務員	23	国際交流サービス協会	埼玉	上尾市国際交流協会
	太平洋混成	教員	24	日本国際生活体験協会	三重	勤三重県国際交流財団
	バブア・ニューギニア	公務員	10	世界青少年交流協会	富山	富山県世界青年友の会
	バブア・ニューギニア	教員	19	青年海外協力協会	北海道	勤帯広青年会議所
	フィジー	公務員	12	日本国際協力センター	静岡	勤静岡県国際交流協会
7月2日 ～ 7月31日 6陣 97人	韓国	前語者(公領)	25	日本ユースホステル協会	長崎	長崎県ユースホステル協会
	韓国	勤語者(韓領)	24	勤労厚生協会	北海道	勤滝川国際交流協会
	韓国	教員(休学校)	23	世界青少年交流協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
	韓国	学生(休校中)	25	青年海外協力協会	熊本	熊本県青年海外協力協会
8月20日 ～ 9月18日 7陣 117人	ヴィエトナム	教育	25	ユースワーカー能力開発協会	宮崎	ユースワーカー能力開発協会宮崎県支部
	ヴィエトナム	農業	24	青年海外協力協会	徳島	徳島県青年海外協力協会
	フィリピン	経済A	20	日本国際協力センター	鹿児島	勤鹿児島県国際交流協会
	フィリピン	経済B	24	日本経済青年協議会	香川	勤香川県国際交流協会
	フィリピン	農業	24	秋田県国際交流協会	秋田・青森	青森県青年海外協力協会
8月28日 ～ 9月26日 8陣 90人	ハンガラデシュ	保健医療	19	国際看護交流協会	山梨	勤国際看護交流協会
	ブータン、モルディブ	教育	10	青少年育成国民会議	鳥根	鳥根県国際交流青友会
	インド	前語者(韓領)	24	世界青少年交流協会	岐阜	岐阜県世界青年友の会
	ネパール	前語者(韓領)	7	世界青少年交流協会	長野	勤駒ヶ根青年会議所
	スリ・ランカ	教育	10	日本ユネスコ協会連盟	佐賀	佐賀ユネスコ協会
	パキスタン	公務員(領事)	20	日本国際協力センター	新潟	勤新潟県国際交流協会

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
9月10日 ～ 10月9日 9陣 114人	タイ	農業	25	青年海外協力協会	静岡県	沼津国際交流協会
	タイ	経済A	20	日本ユースホステル協会	愛媛県	愛媛県国際交流協会
	タイ	経済B	24	勤労厚生協会	愛知県	ジャパンヤングサークル東海支部
	ブルネイ	社会開発	15	日本国際協力センター	北海道	千歳国際交流協会
	ミャンマー	教育	20	世界青少年交流協会	群馬県	群馬県国際交流協会
	モンゴル	勤労青年	10	国際交流サービス協会	和歌山	和歌山県青少年育成協会
9月18日 ～ 10月17日 10陣 113人	マレーシア	農業開発	16	日本青年団協議会	岡山	岡山県青年館
	マレーシア	教育	25	日本国際生活体験協会	北海道	とまこまい国際交流センター
	マレーシア	科学技術開発	25	豊川市国際交流協会	愛知県	豊川市国際交流協会
	インドネシア	農業	25	世界青少年交流協会	香川県	香川県海外派遣友の会
	インドネシア	教育	22	青年海外協力協会	山形	山形県青年海外協力協会
10月8日 ～ 11月6日 11陣 100人	中国	青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城県	宮城県ユースホステル協会
	中国	経済青年	25	日本経済青年協議会	徳島	徳島県日中青年交流協会
	中国	公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	岩手	岩手県国際交流協会
	中国	教員	25	国際交流サービス協会	栃木	栃木県青年会館
10月16日 ～ 11月14日 12陣 95人	アフリカ英語圏	女性教員1	26	大阪府国際交流財団	大阪	大阪府国際交流財団
	アフリカ仏語圏	女性教員2	20	青年海外協力協会	岡山	津山と世界を結ぶ会
	アフリカ英語圏	経済開発員1	23	青少年育成国民会議	愛媛	愛媛県青年海外協力協会
	アフリカ仏語圏	経済開発員2	26	世界青少年交流協会	山口	世界青年徳山友の会
10月22日 ～ 11月20日 13陣 89人	ASEAN 混成	教育1	18	愛知県国際交流協会	愛知県	愛知県国際交流協会
	ASEAN 混成	教育2	18	日本国際生活体験協会	北海道	札幌国際プラザ
	ASEAN 混成	経済1	18	国際交流サービス協会	千葉県	千葉県国際交流協会
	ASEAN 混成	経済2	18	青少年育成国民会議	福岡	九州・山口経済連合会
	ASEAN 混成	経済3	17	勤労厚生協会	岡山	岡山青年国際交流会
11月5日 ～ 12月4日 14陣 113人	ASEAN 混成	環境保全	30	日本経済青年協議会	北海道	釧路市海外青年招へい事業実行委員会
	ASEAN 混成	社会福祉	30	日本ユースホステル協会	広島	広島県青少年文化センター
	ASEAN 混成	保健医療	29	国際看護交流協会	長野	長野国際看護交流協会
	ASEAN 混成	行政A	24	公務研修協議会	福岡	福岡県海外青年招へい事業実行委員会
11月19日 ～ 12月18日 15陣 100人	中国	産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	兵庫県	兵庫県青少年本部
	中国	経済開発	25	勤労厚生協会	鳥取	とっとり青友会
	中国	地域振興	25	青年海外協力協会	北海道	十勝インターナショナル協会
	中国	人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議
1月21日 ～ 2月19日 16陣 50人	中南米混成	社会福祉1	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄県国際交流財団
	中南米混成	社会福祉2	25	日本国際協力センター	沖縄	沖縄県国際交流財団
合計	72グループ 1,593名	ASEAN 6カ国 (79) ミャンマー (20) 太平洋14カ国・地域 (88) 中国 (200) 韓国 (97) 南西アジア7カ国 (90) モンゴル (10) アフリカ39カ国・1国際機関 (95) インドシナ3カ国 (149) 中南米11カ国 (50) 計84カ国・地域、1国際機関				

청년 초청 사업

머 리 말

「21세기를 위한 우정계획」은 국제협력사업단 (JICA) 이 개발도상국을 대상으로 실시하는 기술협력의 일환으로 아세안을 비롯하여 아시아, 태평양, 아프리카 중남미 각국으로부터 장래의 국가건설을 담당하게 될 청년들을 전문분야별로 일개월동안 일본에 초청하여 각분야에 관한 진반적인 이해는 물론, 홈스테이 가족들과의 폭넓은 교류를 통하여 상호이해를 돈독히 하고 신뢰와 우정을 배양하는 것을 목적으로 하는 청년초청사업입니다.

초청국은 처음에는 아세안 6개국에 국한되어 있었으나, 현재는 태평양채국, 미얀마, 중국, 한국, 남서아시아채국, 몽고, 아프리카채국 및 캄보디아, 라오스, 베트남 등 인도차이나 삼개국, 중남미채국이 추가되어 점차 확대되어 가고 있습니다.

1997년도에는 1,593명의 청년을 초청하여 1984년도부터 1997년도까지 14년간 일본을 방문한 각국의 청년은 16,602명에 이르고 있습니다. 이것은 관계자 여러분들의 협력과 우정어린 지원이 있었던 덕분이라고 마음속 깊이 감사의 말씀을 올리는 바입니다.

본 보고서는 초청청년 합숙세미나에 참가하였던 일본청년 및 홈스테이를 받아주신 전국의 호스트패밀리 여러분들이 보내주신 감상문을 중심으로, 초청청년들의 한달 동안의 체재기록을 엮은 것입니다. 이 보고서가 본사업의 보다 큰 발전을 위한 지침서가 되고 또한 여러분의 좋은 추억이 되었으면 하는 바램입니다. 금년도에 참가하신 초청청년 및 각국의 관계자 여러분들께 보내드릴 예정입니다.

마지막으로 마음이 훈훈해지는 감상문과 의견을 보내주신 분들, 관계자 여러분들께 거듭 깊은 감사를 드리며, 청년초청사업의 프로그램이 더욱더 뜻깊은 교류프로그램이 되도록 앞으로 많은 성원과 협력을 부탁드립니다.

1998년 3월

국제협력사업단
연수사업부
부장 모리모토 마사루

차 례

머리말

1. 대한민국 청년 초청사업

- (1) 사업의 개요 31
- (2) 사업 실적 32

2. 초청 청년 감상문 35

3. 합숙세미나 참가 일본청년의 말 37

4. 홈스테이 가정이 느낀 인상 39

<실적자료>

1. 대한민국 청년 초청사업 실적 일람표 43

2. 1997년도 청년 초청사업 실적 일람표 44

1. 대한민국 청년 초청사업

(1) 사업의 개요

1) 목적

21세기를 향하여, 한국과 일본의 우호와 협력관계를 보다 확고하고도 알찬 관계로 만들기 위해, 미래의 국가 건설을 담당하게 될 한국청년을 일본에 초청하여, 일본의 동세대 청년들과의 교류를 통해 상호이해를 돈독히 하고 참된 우정과 신뢰를 배양하는 것을 목적으로 한다.

2) 실시 방법

(a) 초청 인원수

1997년도는 100명의 청년을 동시기에 초청한다.

(b) 초청 대상자

아래 분야에서 지도적 위치에 있는 18~35세의 청년.

- (i) 청년지도자·공무원 25명
청소년활동자와 관계자, 스포츠·문화·사회봉사 등 단체관계자
- (ii) 근로청년(사부계) 25명
기업 등 근로자, 공무원, 저널리스트
- (iii) 교원(초등학교) 25명
교육기관 교원, 교육관계 공무원
- (iv) 학생(인문·사회계) 25명
대학생, 대학원생, 각종학교 등의 학생

(c) 초청기간 및 시기

7월 2일부터 7월 31일까지 30일간.

3) 프로그램 개요

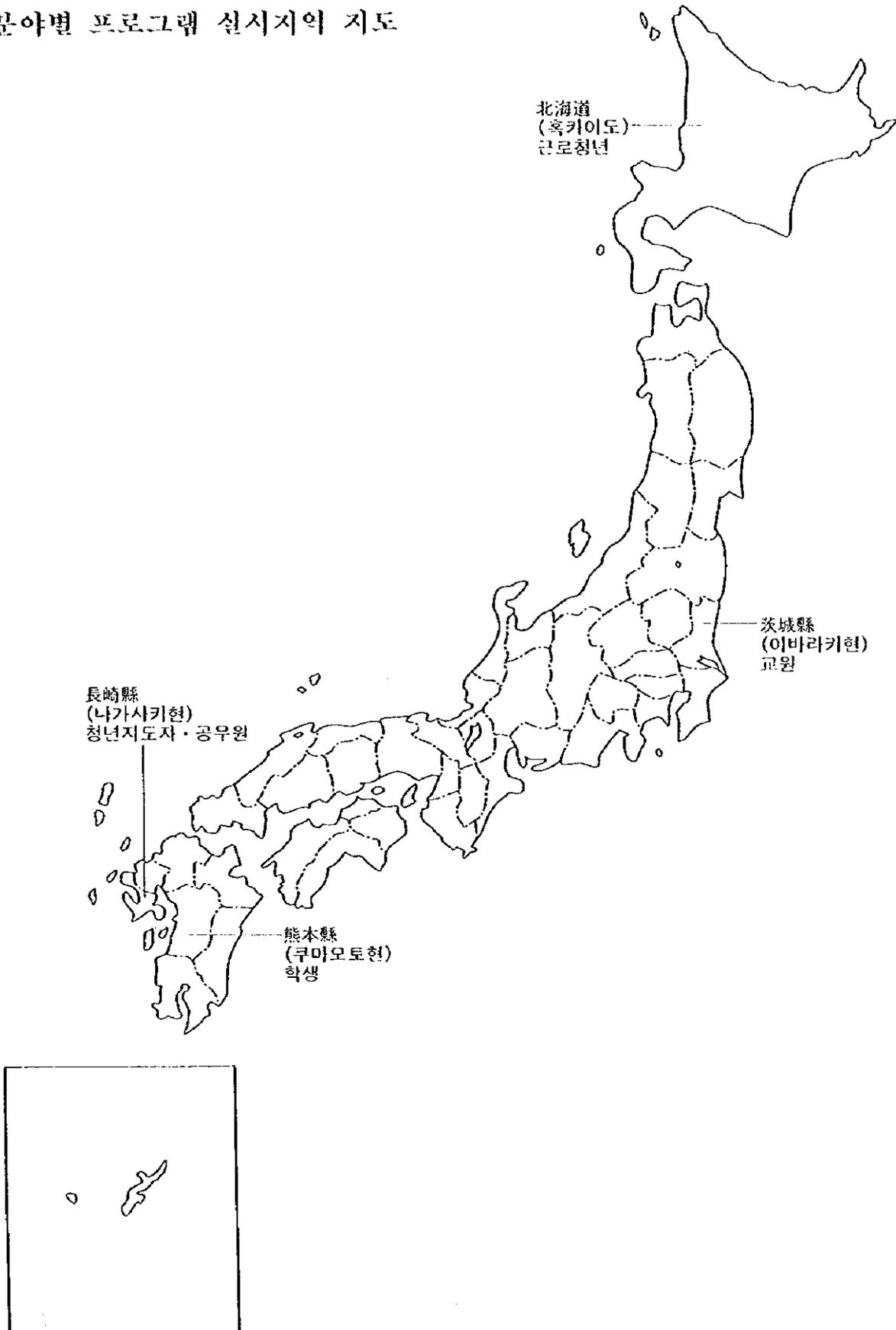
(수 일 간)	현지 오리엔테이션 프로그램	일본에서의 초청분야에 관한 프로그램의 설명 일본어 일상회화 학습 출국 수속에 관한 설명	
	방일	공 동 프 로 그 램	일본의 실상에 관해서 정확한 이해를 촉진하기 위한 문화, 경제, 역사 등의 강의 및 시설견학
(한 달 간)	분야별 프로그램	도내 분야별 프로그램	초청분야의 강의와 관련시설의 시찰 및 연수
		합숙세미나 프로그램	일본 동세대 청년들과의 의견교환, 교류 마당
		지방 분야별 프로그램	초청분야에 관한 강의와 관련시설의 시찰, 연수 및 지방 청년들과의 교류 프로그램
		홈스테이 프로그램	일본 가정생활 체험
	견학여행 프로그램	일본 문화, 전통, 역사 등을 이해하기 위한 견학여행	
귀국	평가 프로그램	프로그램 전체에 대한 평가회	

(2) 사업 실적

분 야 명	인원수	실시 협력단체	실시지역
청년지도자·공무원	25	일본 유스호스텔 협회	나가사키
근로청년(사무계)	24	근로 후생 협회	후카이도
교 원(초등학교)	23	세계 청소년 교류 협회	이바라키
학 생(인문·사회계)	25	청년 해외 협력 협회	쿠마모토

*공공·평가프로그램은 일본국제협력 센터가 전그룹을 대상으로 실시.

분야별 프로그램 실시지역 지도



2. 초청 청년 감상문

그래! 거기에 사람이 있었네

이 재규
(청년지도자반)

그래! 거기에 다정한 사람들이 있었네
멀리서 다가오는 낯선 벗을 위해 술과 노래를 준비하는
낯선 벗의 어색한 얼굴에 웃음꽃을 피우기 위해
그냥 웃어주는
삼일동안 정든 벗들의 안녕이라는 말에 눈물짓는
그런 다정한 사람들이 거기 있었네

그래! 거기에 아름다운 사람들이 있었네
뜰에 아무렇게나 던져진 작은 꽃을 가슴에 안아와
가끔씩 미소를 던져주는
좁은 풀마다, 탁자마다, 화장실마다, 그리고 가슴
마다 작은 꽃을 피우는
그런 아름다운 사람들이 거기에 있었네

그래! 거기에 평화를 사랑하는 사람들이 있었네
원복의 상흔 앞에서 미움을 보듬고 사랑의 멜로디를
올리는
낯선 땅에서 이유도 모른채 한스럽게 죽어간 외로운
영혼들의
버려진 묘비앞에 회한과 사랑의 꽃을 올리는
그런 평화를 사랑하는 사람들이 거기에 있었네

그래! 거기에
사랑하고 미워하고
안타까워하고 후회하고

슬피하고 원망하고
좌절하고 소망하는
오랫동안 잊혀졌던 “또 다른 내”가 있었네

한국 근로청년의 방일 감상문

서 종찬
(근로 청년반)

이번에 방일한 근로청년 24명 중에는 일본과 이
리가지 인연이 있는 사람이 많다.

이만 이는 부친 혹은 조부님이 일본에서 강제로
노역(勞役)한 사람도 있다. 그 사람은 일본에
대해 안좋은 감정을 갖고 있을 것이다. 또 어떤
이는 현재 근무하는 회사가 일본과 기술 협정이나
수출입 관계에 있는 사람도 있다. 그 사람은 일본
의 경제발전에 관심이 많을 것이다.

우리는 일 개월 동안 일본의 관공서, 학교, 사
회시설, 홈스테이 등 이리가지를 경험하였다.

우리 일행 중에서도 사람에 따라서 이리가지 이
야기를 한다. 일본은 싫은데 일본사람은 좋다고
하는 사람, 또 나쁘다고 하는 사람, 일본 여자가
예쁘다고 하는가 하면, 일본 남자가 잘 생겼다고
하는 등 여러 의견이 많지만 가장 확실한 한가지 사
실은 이번 민간 교류가 한일간 이해를 넓히고 나
아가서는 한일관계에 긍정적 효과를 가져온다는
것이다.

서로 인간적으로 만나서 밤 길도록 이야기를 나눌
때 한일 관계의 앞날도 밝아진다고 본다.

일본에서의 체험을 교단에 살려

이 향아
(교원반)

3박 4일의 사전연수를 마치고 우리 대한의 젊은이들은 일본을 알고, 한국을 알리기 위해 나뉘는 때의 하늘을 향해 솟아올랐다.

서로 미처 친해지지도 못한 서먹서먹함 속에서 타국에서라는 이유 하나로, 대한의 아들딸이라는 공동체의식을 느끼며 서로를 아끼며 익숙해져 갔다.

체험학습, 각종 강의, 합숙세미나, 긴장속에서 기대하고 걱정(?)했던 홈스테이, 그리고 견학여행. 이 모두가 일본측이 우리에게 준 상의였고, 우리들에게는 소중한 경험들이었다.

하로시마에서 한국인 워킹탑이 작고 구석진 곳에 있음에 가슴 아파하며 영령앞에 작은 꽃다발을 바치기도 했다.

이제 긴 여행이 끝나려 한다. 우리가 만난 일본의 많은 얼굴들이 마구 오버랩되어진다. 이제 이틀 뒤면 우리들도 서로의 이별을 아쉬워하며 그간 배운 경험들을 그들 각자의 일터에서 활용하리라. 이런 우정을 교환할 수 있는 기회를 준 일본측에 감사의 뜻을 전한다.

Thank you for your kindness!

See you again!

홈스테이의 기억들

장 경미
(학생반)

한달간의 일본 연수중 가장 인상적이었던 것은 구마모토에서의 홈스테이였다. 나의 '어머니'께서는 서예를 배우고 계신다며 직접 보여 주시고 내게도 해보라고 권하셨다. 나는 한자와 한글로 '한국'을 써드렸다. 지금 어머니댁의 한 벽에는 내가 한글로 쓴 '한국' '한글' '일본'이라는 글자와 내 사진, 그리고 온가족이 한글로한 번씩 쓴 '한국'이라는 글자가 나란히 붙어있다. 내 '가족'들은 한동안 한국이라는 나라를 잊지 못할 것이다. 이번 홈스테이에서 서로의 의사 소통이 어려워 자칫 오해가 생길수 있었음에도 아무 탈없이, 즐겁고 좋은 기억을 가지고 헤어질 수 있었던 것은 '어머니'와 다른 가족들, 이웃들의 많은 배려 덕분이었다. 다시 한 번 그분들께 감사의 마음을 표하며, 이번 기회가 한국을 알리는 계기가 될 수 있었기를 바란다.

3. 합숙세미나 참가 일본청년의 말

시작이 반이다!

카와무라 유코(川村木綿子)
(회사원)

안연이 있어 한국의 여러분들과 교류를 시작한지 4년이 된다. 하지만 이번처럼 흥금을 터놓고 솔직하게 의견을 교환할 수 있었던 것은 처음이다.

그 중에서도 존경해 오던 시인 윤 동주와 그의 작품에 대하여 언어상의 부자유를 느끼면서도 깊이 있는 대화를 나눌 수 있었던 점은 심금을 울리게 하는 경험이었다.

한국인이 '친구' 라고 불리울 때는 일본인에게는 없는 뜨거운 의미가 배어 나오는 듯한 느낌이 들었다. 우리는 이번에 만나서 친구가 될 수 있는 계기를 만든 것에 불과하다. 앞으로 어떻게 발전시켜 나갈 것인가는 우리를 자신에게 달려있다고 할 수 있겠다. 친구란 좋은 점도 나쁜 점도 서로 함께 나눌 수 있는 관계라고 생각한다. 할 말은 많지만 이제 막 시작이라고 생각하기에 남은 이야기는 다시 만났을 때 계속해서 나누고 싶다.

“참으로 감사합니다”.

남겨진 숙제

요시무라 미카(吉村美佳)
(회사원)

아러 분야에서 국제교류를 해 왔지만 토론을 대개로한 교류는 처음이었다. 유학, 여행, 농촌개발 등의 목적으로 몇몇 나라를 방문해 보았지만 이번과 같은 많은 사회인들과의 교류는 신선한 것이었으며 즐거움에 그치지 않고 이리가지름 생각하게 하는 부분도 많이 있었다.

그리고 한국의 청년들은 개인의 의견을 가지고 있는 한편 다른 사람에 대해서도 배려를 할 줄 아는 친절함도 지니고 있다는 것을 알았다. 3일간의 짧은 프로그램이었지만, 특히 심야까지 이어진 토론은 상대를 이해하고 또 우장을 돋독히 하기에도 충분했다. 한글의 어감에도 매력을 느꼈으며, 한일 교류사에 대한 책도 찾아 읽는 등, 합숙 후에도 내게 남겨진 숙제를 차근차근 정리해 나가야 한다. 뜻깊은 만남에 감사드림과 아울러 가까운 장래에 이번의 멤버들과 재회하여 이야기를 나눌 수 있는 기회를 꼭 다시 가지고자 한다.

열정적인 한국의 청년교사에게 감동

우스이 히데유키(臼井秀行)
(초등학교 교사)

“일본이 앞으로 지향하는 교육은?” “특별활동은?” “오른 스쿨은?”…… 등 계속 이어지는 질문을 받고 장시간의 일면 정보교환으로 오랫동안 긴장된 3일간이었다. 그리고 그땐 디스키션에서는 일본의 좋은점을 가급적 적극적으로 받아들이,

보다 나은 것으로 발전시키 나가려고 하는 한국 선생님들의 열의에 압도되었으니 우리들도 분발하지 않으면 안되겠다는 생각을 새로이 가다듬게 되었다.

내가 속해있던 반은 '청소년의 놀이 및 문화의 차이' '특별활동'이 중심 테마였다. 그 중에서도 '다마고찌'가 화제의 중심이 되었었는데 일본의 문화와 교육제도가 한국에도 적지 않은 영향을 미치고 있다는 것을 처음으로 알게 되었다. 그리고 한국의 과다한 입시경쟁의 현실은 중요한 문제로써 충분히 검토하여 대응해 나가지 않으면 안되겠다고 생각했다. 이번 3일간의 경험을 학교에 돌아와 보고하고 앞으로의 교육에 살리나가야겠다고 생각했다.

허심탄회한 교류

칸 타츠오(菅 龍夫)

(학생)

내게서 웃음소리가 끊이지 않은 유쾌한 날들이었다. 오늘도 도시의 향랑함을 느끼면서 이리 한국 친구들과 함께 지냈던 3일간의 생각한다. 너무나 즐거웠기에 무엇을 쓸까 망설여진다. 사실은 내 스타일대로 와— 와— 와— 라고만 쓰고 끝내고 싶다.

친구의 권유로 이번에 처음으로 합숙세미나에 참가하게 되었다. 노래도 부르고, 춤도 추고, 소리도 지르는 한국 친구들의 열기에 놀랐으나 동시에 좋은 친구가 되었다는 사실에 기쁨을 느꼈다. 또한 토론에 임하는 모든 친구들의 진지한 시선이 인상적이었다. 토론시간이 지나고도 밤 늦게까지 한손에 술잔을 들고 뜨거운 토론이 이어졌다. 흥분했던 것은 그들도 마찬가지였다고 생각한다.

그때는 "아니, 그건 납득할 수 없어요!" 라고 고개를 저었던 나였지만 도시에 돌아와 꼼꼼히 생각해보니 "그 친구의 주장도 이해할 수 없는 건 아니야!" 라고 지금은 이해가 되기도 한다.

한국과 일본 사이에 넘어야 할 벽은 몇가지 있다고 생각한다. 하지만 이번의 세미나와 같이 형식이나 외양에 구애받지 않고 마주앉아 대화를 나누는 것이 서로가 가까워질 수 있는 지름길이라고 생각했다. 언젠가 그들 모두와 허심탄회한 교류가 가능하리라 믿으며 나 역시 노력을 아끼지 않을 생각이다. 훌륭한 만남에 감사하며, 나의 카타란 사랑이 이들에게 전해지기를…….

4. 홈스테이 가정이 느낀 인상

멋진 선물 감사해요

요시자키 요시히데(吉崎芳秀)
(나가사키현)

“안녕히 가세요, 또 오세요!” 라면서 잡은 손을 놓으려 하지 않는 아들과 딸. 웃는 얼굴로 대해 주었던 청년. 나도 눈물을 참으면서 마음 속으로 재회를 다짐했다. 아이들도 처음 맛보는 체험, 우정과 아쉬운 이별의 슬픔에 깊은 감동을 느꼈던 것은 말할 나위도 없다. 처음으로 경험하는 홈스테이.

전날까지의 불안과 긴장은 전부 감격과 기쁨으로 변해 있었다. 언어의 벽, 과거의 여러가지 응어리 등은 전혀 느낄 수 없었던 청년의 훌륭한 인격 덕분에 아무런 위화감도 느낄 수 없었다. 가족 모두가 한마음이 되어 교류를 했다. 아이들과 청년의 대화 풍경에 나도 웃음을 터뜨리곤 했다.

“홈스테이는 아편이 마지막이에요!” 라고 하던 아내도 “기회가 있으면 또 맞아들입니다!” 라고 바뀐 정도로 편안함과 성취감을 안겨 준 청년. 짧은시간이었지만 한아름이나 되는 멋진 선물을 준 그에게 진심으로 “고맙다”는 감사의 뜻을 전하고 싶다. 그리고 이러한 기회를 마련해 주신 분들에게도 깊은 감사를 드리는 마음으로 가득하다.

홈스테이 감사합니다

마츠자와 키요코(松沢紀代子)
(후쿠이도)

한글강좌에 다니고 있다고는 해도 도저히 화화까치는 자신이 없었던 나는 한국 청년이 우리집에 이틀씩이나 묵는다는 사실에 도대체 어찌될 좋을지 걱정이었다. 하지만 의외로 마음이 통했으며 나의 서투른 한글과 그의 떠들기리는 일본어, 그리고 약간의 영어와 메모장에 쓰는 한자를 사용하여 그가 중매결혼하여 태어난 저 적달된 딸이 있다는 것과 취미는 동산과 클래식음악을 듣는 것, 모친은 나와 동갑이라는 것 등을 알게 되었다. 얼굴이 일본 사람과 꼭 닮았으며 예의바르게 웃사함을 공경하는 그들에게 옛 일본의 젊은이들을 보는 듯한 느낌이 들었다. 필사적으로 외운 한국 노래들 같이 불렀던 일도 좋은 추억이 되었다. 11월에는 한글강좌의 친구들과 서울과 부산에 여행을 갈 예정이기에 다시 만날 날을 기다리며 화화 공부에 열을 올리고 있는 나날이다.

한국인 청년을 맞이하여

미사와 진(見澤 仁)
(이바라기현)

지금까지 한국이라고 하면 ‘가깝고도 먼 나라’라는 이미지를 가지고 있었다. 그것은 내 자신의 부족한 지식 탓이었다. 이번 시대에서는 양국의 역사적 배경을 고려하여 어떤 식으로 이야기를 풀어어나가는 것이 좋을지 하고 걱정을 했던 것도 사실이다. 그러나 실제로 만나 이불간 생활해 보니 더

구나 우리 세대 정도가 되면 옛날 이찌구 하는 것보다 흥미의 대상은, 예컨대 월드컵 축구의 라이벌 국가라는 식이었다. 밥은 통하지 않아도 그런 스포츠를 통한 교류나 문화적인 교류를 하는 것이 앞으로 더욱더 중요하게 되리라 생각한다. 그만큼 가까운 나라인 것이다. 이번에 선 선수씨를 초대한 체험을 통해 지금까지보다 훨씬 심직으로 가까워졌다고 생각한다. 다음에는 한국을 방문해 보고 싶다. 서로에게 귀중한 경험이 되었다고 생각한다.

만남

사외다 미사코(澤田美佐子)
(구마모토현)

이번에 홈스테이의 손님을 맞이하게 되었는데 우리집은 부부만이었기 때문에 어떻게 대응하면

좋을지 많은 생각을 했다. 평소처럼 자연스럽게 대했는데 일본어를 매우 잘하는 분이라서 위화감 없이 이야기를 나눌 수 있었다.

일본 문화에 대해 다양한 체험을 할 수 있도록 해 드리고 싶었지만 단기간이었던 관계로 고민 끝에 세이와무라(清和村)의 분라쿠(文楽: 18세기말에 시작된 일본의 전통 실화인형극: 판집자주)관에 데리고 갔다. 그녀는 인형을 만져보며 목을 움직여 보기도 했다. 또한, 도시락을 집에서 만들어 다카치호개곡(高千穂峽)에 놀러가기도 했는데 매우 즐거워하는 표정이었다.

마지막 날 밤에는 늦게까지 대화를 나누었는데, 말로 표현하기 힘든 아쉬움과 사랑스러움을 느꼈으며, 말이 새로 하나 생긴 기분이었다. 문화와 습관이 달라도 마음과 마음으로 대화를 나누는 사이에 서로 통할수 있다는 것을 절감했다. 서로 이별을 아쉬워하며 눈물이 흘러내렸지만, 이번을 기회로 다시 만날 것을 약속했다.

실적자료

1. 대한민국 청년 초청사업 실적 일람표

●1993년도(96명)

	인수	실시협력단체	실시지역	JICA지부	지방협력단체
학 생	25	세계청소년교류협회	이시카와	호쿠리쿠	이시카와현 세계청년우호회
교 원	24	일본국제협력센터	이와테	도오호쿠	(재)이와테현 국제교류협회
근로청년	23	근로후생협회	코우치	시코쿠	(재)일본청년화약소 코우치분류 협의회
청년지도자	24	일본유스호스텔협회	니이가타	칸토오	(재)니이가타현 유스호스텔협회

●1994년도(100명)

	인수	실시협력단체	실시지역	JICA지부	지방협력단체
청년지도자	25	일본유스호스텔협회	오кина와	오кина와	오кина와현 유스호스텔협회
교 원	25	청년해외협력협회	후카이도	후카이도	후카이도 청년해외협력대 OB회 동지부
근로청년	25	근로후생협회	사이타마	칸토오	아게오시 국제교류추진위원회
학 생	25	세계청소년교류협회	니이가타	칸토오	니이가타현 세계청소년우호회

●1995년도(98명)

	인수	실시협력단체	실시지역	JICA지부	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	국제교류서비스협회	니이가타	칸토오	(재)니이가타현 국제교류협회
근로청년	23	근로후생협회	사이타마	칸토오	아게오시 국제교류추진위원회
교 원	25	일본유스호스텔협회	후쿠이	호쿠리쿠	(재)후쿠이현 국제교류협회
학 생	25	세계청소년교류협회	아키타	도오호쿠	아키타현 세계청소년우호회

●1996년도(100명)

	인수	실시협력단체	실시지역	JICA지부	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	일본유스호스텔협회	에히메	시코쿠	(재)에히메현 국제교류협회
근로청년	25	근로후생협회	시가	칸사이	시가현 청년단체연합회
교 원	25	국제교류서비스협회	이바라키	츠크바국제센터	1996년도 이바라키현 외국청년 초청사업실행위원회
학 생	25	세계청소년교류협회	아키타	도오호쿠	(재)아키타현 국제교류협회

●1997년도(97명)

	인수	실시협력단체	실시지역	JICA지부	지방협력단체
청년지도자·공무원	25	일본유스호스텔협회	나가사키	큐슈	나가사키현 유스호스텔협회
근로청년	24	근로후생협회	후카이도	후카이도	(사)타키가와 국제교류협회
교 원	23	세계청소년교류협회	이바라키	츠크바국제센터	이바라키현 외국청년초청사업 실행위원회
학 생	25	청년해외협력협회	쿠마모토	큐슈	쿠마모토현 청년해외협력협회

2. 1997년도 청년 초청사업 실적 일람표

실시기간	국명	분야명	인수	실시협력단체	실시지역
5월15일~6월13일 1진 116명	인도네시아	사회 개발	25	일본 유스호스텔 협회	오이타
	인도네시아	경제 A	20	일본 경제 청년 협의회	후쿠이
	인도네시아	경제 B	24	근로 후생 협회	군마
	필리핀	교육	22	청소년 육성 국민회의	야마나시
	필리핀	사회 개발	25	국제 교류 서비스 협회	도야마
5월21일~6월19일 2진 117명	싱가폴	교육	21	세계 청소년 교류 협회	이시카와
	싱가폴	사회 개발	25	근로 후생 협회	오사카
	싱가폴	경제 B	24	일본 국제 협력 센터	오사카
	태국	교육	22	청년 해외 협력 협회	교토
	태국	사회 개발	25	일본 우애 청년 협회	이시카와
6월4일~7월3일 3진 100명	베트남	공무원	25	공무 연수 협의회	후카이도
	베트남	경제	25	국제 협력 서비스 협회	오사카
	말레이시아	경제 경영	25	청소년 육성 국민회의	후쿠시마
	말레이시아	중소기업	25	일본 유스호스텔 협회	이시카와
6월19일~7월18일 4진 94명	싱가폴	경제 A1	20	유스 워커 능력 개발 협회	후쿠시마
	싱가폴	경제 A2	24	일본 경제 청년 협의회	교토
	캄보디아	교육	30	청소년 육성 국민회의	오кина와
	라오스	농업관계 공무원	20	코우치 국제 교류 협회	코우치
6월26일~7월25일 5진 88명	태평양·혼성	공무원	23	국제 교류 서비스 협회	사이타마
	태평양 혼성	교원	24	일본 국제 생활 체험 협회	미에
	파푸아뉴기니	공무원	10	세계 청소년 교류 협회	도야마
	파푸아뉴기니	교원	19	청년 해외 협력 협회	후카이도
	피지	공무원	12	일본 국제 협력 센터	시즈오카
7월2일~7월31일 6진 97명	한국	청년 지도자·공무원	25	일본 유스호스텔 협회	나가사키
	한국	근로 청년(사무직)	24	근로 후생 협회	후카이도
	한국	교원(초등학교)	23	세계 청소년 교류 협회	이바라키
	한국	학생(인문·사회계)	25	청년 해외 협력 협회	쿠마모토
8월20일~9월18일 7진 117명	베트남	교육	25	유스 워커 능력 개발 협회	미야자키
	베트남	농업	24	청년 해외 협력 협회	후쿠시마
	필리핀	경제 A	20	일본 국제 협력 센터	카고시마
	필리핀	경제 B	24	일본 경제 청년 협의회	카가와
	필리핀	농업	24	아키타현 국제 교류 협회	아키타· 아오모리
8월28일~9월26일 8진 90명	방글라데시	보건 의료	19	국제 간호 교류 협회	야마나시
	부탄·네팔·다이크	교육	10	청소년 육성 국민회의	시마네
	인도	교원(이수과)	24	세계 청소년 교류 협회	기후
	네팔	교육(초등학교)	7	세계 청소년 교류 협회	나가노
	스리랑카	교육	10	일본 유네스코 협회 연맹	사가
파키스탄	공무원(사회복지)	20	일본 국제 협력 센터	니이가타	

실시기간	국명	분야명	인수	실시협력단체	실시지역
9월10일~10월9일 9진 114명	태국	농업	25	청년 해외 협력 협회	시즈오카
	태국	경제 A	20	일본 유스호스텔 협회	에히메
	태국	경제 B	24	근로 후생 협회	아이치
	브루나이	사회 개발	15	일본 국제 협력 센터	후카이도
	미얀마	교육	20	세계 청소년 교류 협회	군마
	몽골	근로 청년	10	국제 교류 서비스 협회	와카야마
9월18일~10월17일 10진 113명	말레이시아	농업 개발	16	일본 청년단 협의회	오카야마
	말레이시아	교육	25	일본 국제 생활 체험 협회	후카이도
	말레이시아	과학기술 개발	25	도요카와시 국제 교류 협회	아이치
	인도네시아	농업	25	세계 청소년 교류 협회	카가와
	인도네시아	교육	22	청년 해외 협력 협회	야마가타
10월8일~11월6일 11진 100명	중국	청년 지도자	25	일본 유스호스텔 협회	미야기
	중국	경제 청년	25	일본 경제 청년 협의회	도쿠시마
	중국	공무원	25	유스 워커 능력 개발 협회	이와테
	중국	교원	25	국제 교류 서비스 협회	도치기
10월16일~11월14일 12진 95명	아프리카				
	영어권	여성 교원 1	26	오사카부 국제 교류 재단	오사카
	불어권	여성 교원 2	20	청년 해외 협력 협회	오카야마
	영어권	경제 개발 공무원 1	23	청소년 육성 국민회의	에히메
	불어권	경제 개발 공무원 2	26	세계 청소년 교류 협회	야마구치
10월22일~11월20일 13진 89명	아세안 혼성	교육 1	18	아이치현 국제 교류 협회	아이치
	아세안 혼성	교육 2	18	일본 국제 생활 체험 협회	후카이도
	아세안 혼성	경제 1	18	국제 교류 서비스 협회	치바
	아세안 혼성	경제 2	18	청소년 육성 국민회의	후쿠오카
	아세안 혼성	경제 3	17	근로 후생 협회	오카야마
11월5일~12월4일 14진 113명	아세안 혼성	환경 보전	30	일본 경제 청년 협의회	후카이도
	아세안 혼성	사회 복지	30	일본 유스호스텔 협회	히로시마
	아세안 혼성	보건 의료	29	국제 간호 교류 협회	나가노
	아세안 혼성	행정	24	공무 연수 협의회	후쿠오카
11월19일~12월18일 15진 100명	중국	산업 기반 정비	25	세계 청소년 교류 협회	효고
	중국	경제 개발	25	근로 후생 협회	돗토리
	중국	지역 진흥	25	청년 해외 협력 협회	후카이도
	중국	인재 육성	25	유스 워커 능력 개발 협회	오키나와
1월21일~2월19일 16진 50명	중남미 혼성	사회 복지 1	25	청소년 육성 국민회의	오키나와
	중남미 혼성	사회 복지 2	25	일본 국제 협력 센터	오키나와
합계	72개 그룹 1,593명	아세안 6개국(791), 태평양14개국·지역(88), 미얀마(20), 중국(200), 한국(97), 남서 아시아 제국 7개국(90), 몽골(10), 아프리카 제국 39개국 1국제기관(95), 인도차이나 3개국(149), 중남미 11개국(50)			

青年招へい事業 —韓国—[交流レポート](1997)

청년 초청 사업 —한국—[교류 보고서](1997)

平成10年3月31日

発行 国際協力事業団研修事業部青年招へい課

발행 Youth Invitation Division

Training Affairs Department

Japan International Cooperation Agency

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2丁目1-1

新宿マインズタワー

주소 SHINJUKU MAYNDS TOWER

2-1-1, Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151-8558 Japan

Phone (03) 5352-5402~3

編集 (財)日本国際協力センター 国際交流部

편집 Japan International Cooperation Center

International Exchanges Department

〒163-0409 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル9F

주소 Shinjuku Mitsui Bldg., 9F,

2-1-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 163-0409 Japan

Phone (03) 5322-2561

無断転載を禁じます。

무단전재를 금함.

